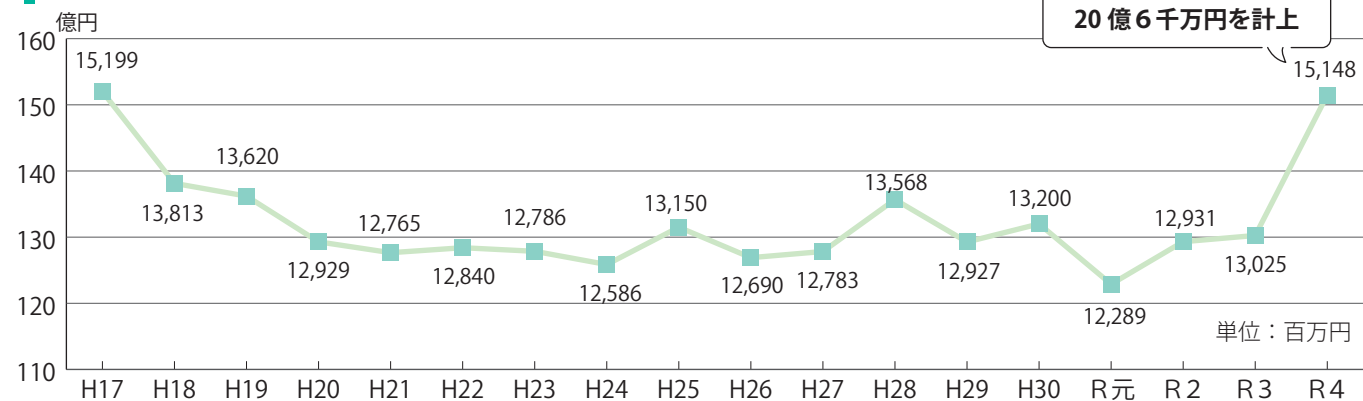
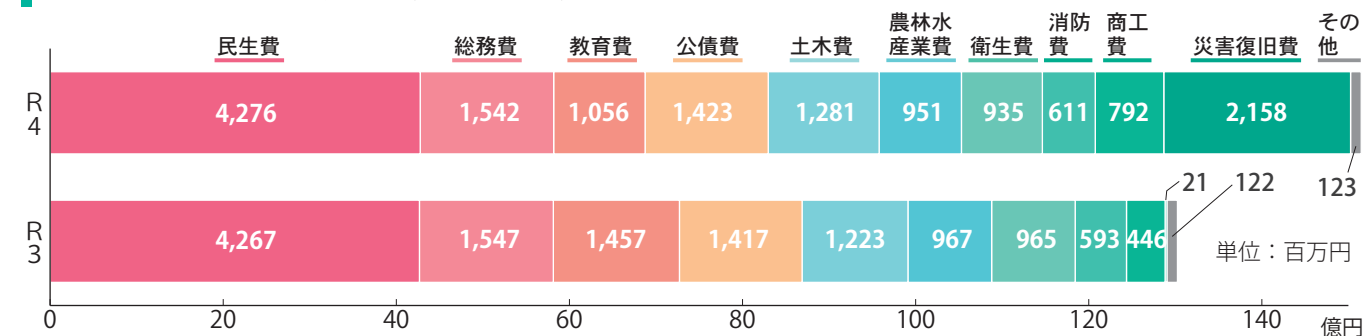


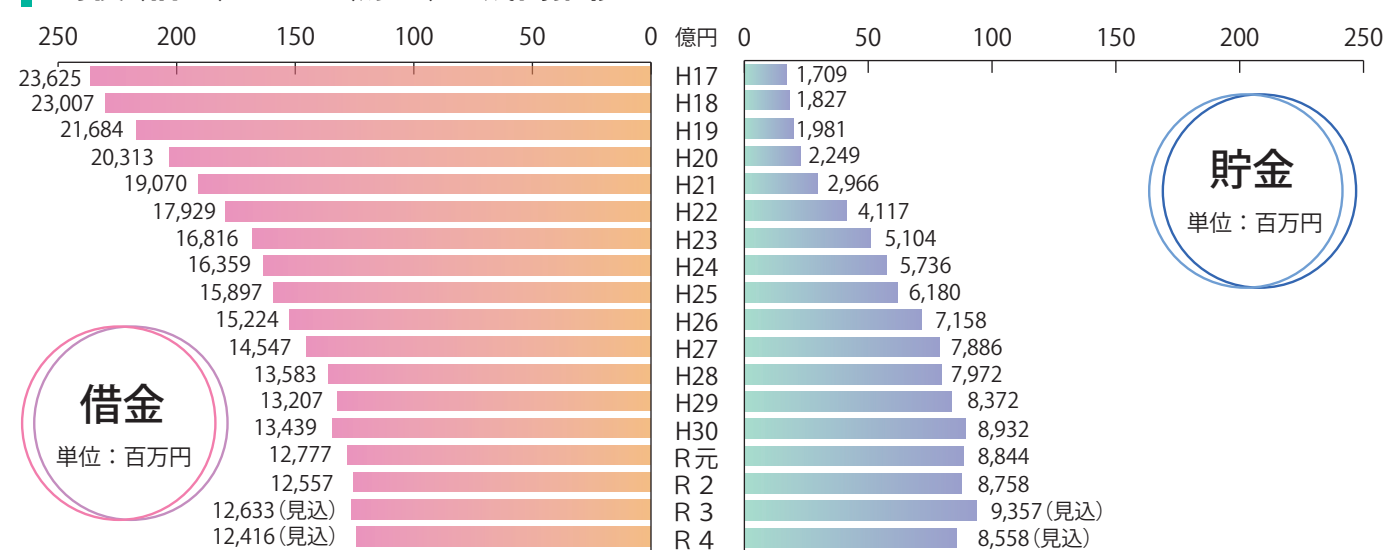
当初予算の推移（一般会計）



歳出の目的別分類状況（一般会計）



町債（借金）と基金（貯金）の残高推移



公債費負担適正化計画により地方債（公共施設の整備などでの財源不足を補うための借入金）の借入額を抑えることで、町債残高が減少するように取り組んでいます。

災害や施設の老朽化に伴う経費などを補うため、計画的に積立をしています。しかし、不足する財源を基金の取り崩しなどに頼らざるを得ず、残高の減少が懸念されます。

各会計予算規模

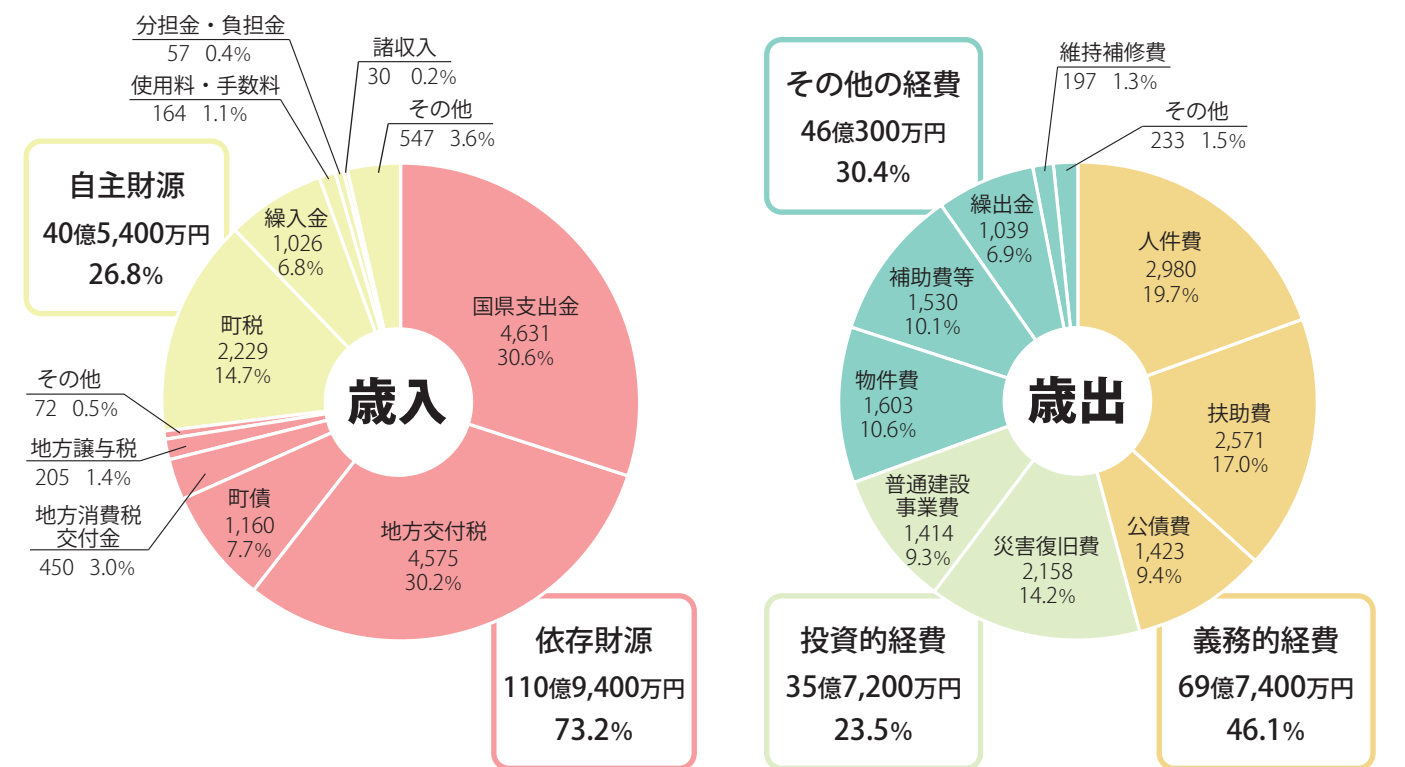
区 分		令和 4 年度	令和 3 年度	増 減 額	増 減 率
一 般 会 計		151億4,800万円	130億2,500万円	21億2,300万円	16.3%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	30億8,558万4千円	30億9,204万5千円	-646万1千円	-0.2%
	後 期 高 齢 者 医 療	3億8,881万4千円	3億6,388万1千円	2,493万3千円	6.9%
	介 護 保 険 事 業	34億6,894万9千円	35億9,440万6千円	-1億2,545万7千円	-3.5%
	農 業 集 落 排 水 事 業	6,620万4千円	5,061万3千円	1,559万1千円	30.8%
企 業 会 計・上 水 道 事 業		6億4,357万3千円	7億5,438万5千円	-1億1,081万2千円	-14.7%

令和 4 年度 当初予算 151億4,800万円

新型コロナウイルス感染防止と地域経済活動の両立を念頭に、豪雨災害からの復旧・復興と防災・減災を最優先として、徹底した行財政改革、事務事業評価結果に基づく見直しを反映した予算編成です。財政運営を取り巻く環境は、少子高齢化、災害対策、デジタル化、社会資本整備や施設の維持管理など深刻な課題に直面しています。令和2年国勢調査結果に伴う減収が見込まれることから、基金を取り崩すなど非常に厳しい予算編成となりました。

歳入状況と歳出の性質別分類状況（一般会計）

※金額、構成比は四捨五入の関係で必ずしも総額、100%にはなりません。単位：百万円



次のような事業に使います

新型コロナウイルス感染拡大による町内経済の落ち込みに対応するため、感染状況を見極めながら、町民1人あたり1万円分の商品券を配布する「第3弾さつま応援商品券」の発行を行います。

令和3年7月豪雨では、本町で線状降水帯が発生し、甚大な被害を受けました。被災した箇所の1日も早い復旧に向けて取り組みます。

がん検診の自己負担額を一律500円とする「ワンコイン検診」を始め、受診率向上や早期発見・早期治療につなげ、町民が自らの健康を守る意識を高めます。（令和6年度まで）

